

第2回大阪大学野田村サテライトセミナー 「大阪大学からの報告 Part 1 & 上棟式」

2013年4月11日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第2回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。また、この機会に、前回実施できなかった上棟式を行いました。



野田村サテライト外観



内部で準備が進む（手前は、チーム北リアス現地事務所）

セミナーには、野田村の方々にご参加いただきました。今回は、遠隔教育システムを通じて、大阪大学人間科学部と結び、人間科学部の紹介、および、人間科学部生との意見交換をしました。まず、人間科学部の内部や周辺を写真で紹介した後、人間科学部紹介ビデオをご覧いただきました。続いて、人間科学部とつなぎ、3月まで1年間野田村に滞在して4月に復学した学生、学部内で作っている野田村コミュニティ復興研究会の学生が、サテライト側の参加者と質疑応答をしました。



大阪大学人間科学部の紹介を見る



中継を通じて意見交換（映像等を見られるiPadを全員に）

セミナーを始める前に、上棟式を行いました。野田村では、新しく家を建てる時に、紅白の餅を撒く習慣があります。施主・棟梁は、小さな紅白の餅を奇数個準備（例えば、333 個）、屋根の四隅には、大きめの餅（隅餅といいます）を置きます。まず、屋根から小さな餅を撒きます。続いて、隅餅を対角線方向に大きく投げます。近所の人たちが集まって、撒かれた餅を受けとめます。今回は、隅餅も含めて、2 階の階段部分から撒きました。また、準備時間中には、休学して野田村に 1 年間滞在していた人間科学部生と、野田村で彼をお世話して下さった方が、遠隔教育システムを通じて再会。近況を報告し合う嬉しいシーンもありました。



上棟式の餅撒き



お世話になった方との対話

今後も、野田村サテライトでは、毎月 11 日に開催予定のセミナーをはじめ、様々な方々との意見交流の場を設け、記録し、夏の授業に向けた準備を整え、震災復興における未来共生を目指していきます。また、サテライトに導入された遠隔教育システムにより、各地からサテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。